

本制度があったおかげで、実現できたことがたくさんあります。プレッシャーを感じる事もありますが、あまり気負わずに、留学を思い切り楽しんでください。

(オーストラリア)

私は奨学金をもらえる自信が全くありませんでしたが、緻密な準備と自分の学びに対する熱意で無事奨学金を頂けることになりました。留学したいという強い意志があるのならば、ぜひ丁寧に準備をして受験してみてください。

(英国)

JASSO（海外留学支援制度）に申し込む皆さんへ。JASSO の学部学位取得型奨学金はアメリカでの学位取得という私の人生における大切な目標を現実のものとする上で欠かせない存在です。皆さんも、純粋な留学への気持ちと勉学やあなたが学びたい事への情熱をもって JASSO に申し込み、あなたの夢や目標を実現させてください。

(アメリカ合衆国)

月一回の学修報告書では、前月の学修成果を報告しますが、これは、自分の留学先での学修の振り返りと整理、またそれに基づく今後の予定や抱負を意識する良い機会となります。

(アメリカ合衆国)

応募書類の作成は、時間がかかり、深い思考を問われます。とてもボリュームがあり大変です。しかし、私は書類作成をする中で、なぜ自分は留学をし、この国を選び、これを学びたいのか、ということを再度じっくりと考えることができました。今でも、ふと留学の目的や意味、やりがいを見失いそうな時、応募に提出したエッセイを読み返します。そうすることで、渡航後からの自分の関心の変化に気づいたり、初心を思い出したりします。自分と向き合う時間を作ってくれるものとして、応募書類作成をポジティブに取り組んでみてください。

(オーストラリア)

取るまでが大変だったこの奨学金ですが、乗り越えた先に得られるものは大きいです。この奨学金申請を通して私は、自分やその将来そして日本について深く考えるととても良い機会を得ました。日本国民すべての人から自分を応援してもらえるととても素敵な制度だと思います。ぜひ日本と自分を見据えて応募してみてください。留学中の金銭だけでなく心の支えにもなります。

(デンマーク)

「家が裕福じゃないから」という理由だけで留学を諦めないでほしい。私も、奨学金の支給が決まるまでは不安でいっぱいでしたが、勇気を出して挑戦してみて、今、すごく充実した大学生活を送っています。

(オランダ)

私のようにひとり親家庭で、経済的に厳しい状況の人がいたら、その人には決してあきらめずに、JASSO の海外留学支援制度にチャレンジしてほしいです。留学は楽しいことばかりではなく、大変なことのほうが多いですが、日本では絶対に経験できないことを経験できて、自分も強くなります。目標に向かってがんばってください！

（英国）

本制度の申請プロセスは、海外大学に進学するということを改めて考えるいい機会なので、是非応募してみてください。

（英国）

国費留学生としての誇りを持って、日々頑張れることが幸いです。

（アメリカ合衆国）